

沼田市議会3月定例会がはじまります

平成29年度第1回（3月）定例会が、2月28日から開催されます。3月議会は予算議会と呼ばれ、平成29年度予算が市長から提案され、その審査のために予算特別委員会を設置して行われます。

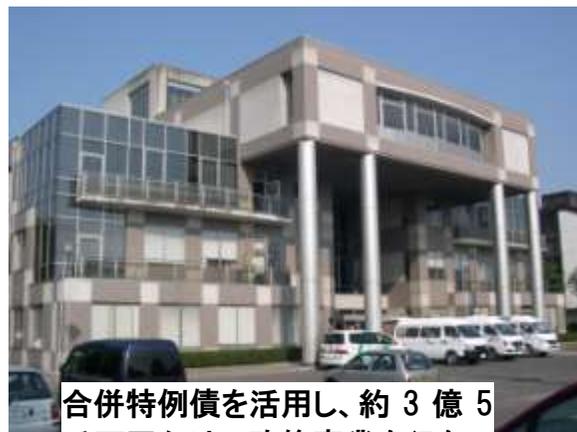
一般会計は235億円特別含む総額は388億円

沼田市の平成29年度一般会計予算は、235億5,402万8,000円で対前年比7.5%増です。特別会計を含めた予算増額は、388億7,454万1,000円で、3月議会開会日の28日に提案されます。

一般会計の収入増は市債（借金）増によるもの

一般会計は前年度当初予算と比べて16億4,461万5千円で7.5%増ですが、歳入の状況をみると市債（借入金）が38億8,768万1千円で前年比17億1,464万1千円増（78.9%増）ということで、予算全体の伸び以上に市債が増えています。

市債全体38億8,768万1千円のうち合併特例債が27億1,260万円を占めています。合併特例債は、事業額の95%まで使えて、元利償還分の70%を国が普通交付税で補てんしてくれる仕組みになっているので、大変有利なものですが、沼田市では平成32年度までしか利用できません。今年度は、グリーンベル21に市庁舎など移転し、複合ビルとして再生させる予算に約20億円、利根小学校校舎新築に約4億6千万円など懸案の事業にこの合併特例債が活用されていますので、市債が大幅に増えている訳です。



合併特例債を活用し、約3億5千万円かけて改修事業を行なっている保健福祉センター

財政基盤の弱い本市のような自治体は、この合併特例債を最大限利用して、期限内に懸案の事業に取り組んでおくことも必要です。しかし、市税の伸びは前年度比0.4%にとどまっており、財政自体は改善しているとは見えませんので、予算の内容の精査と、今後の見通しについては、しっかり監視していくことが必要です。

庁舎等複合施設整備事業に約20億円



Aコープやサンバードが営業していたころのグリーンベル21

グリーンベル21に市庁舎、市民活動施設及び商業・業務施設を整備し、複合施設として活用するための建物の改修工事費（平成29年度、30年度の2か年計画）として29年度は、19億9,681万4千円が予算化されています。この事業費の大半が合併特例債を活用できます。

利根小学校校舎建築事業に4億6千万円

利根町の3小学校統合に伴う新小学校（東小跡地・追貝）の建築費に4億6,564万1千円。この事業は、前年度との2か年事業で28年度は2億9,959万5千円が予算化されており、合計で7億6,523万6千円になります。この事業も大半が合併特例債を活用しています。

経済建設常任委がオリエントを訪問

2月13日、沼田市議会経済建設常任委員会が、恩田町の（株）オリエントを管内調査の一環として訪問し、会社概要・工場見学など、案内や説明を受けました。

今回のオリエントさんは、昭和32年に市内にオリエント工芸株式会社として創立以来、長年にわたって市内で工場などを経営されており、私たちにとっても大変なじみのある会社です。長い歴史の中で紆余曲折もあったと説明を受けましたが、現在では、沼田・高山両工場で従業員340人ほどが働いている優良会社です。



左から2人目が井之川博幸市議

2017年1月29日 No.823

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料